

1 「覚える」英語学習の限界

あなたは、英語がべらべらというか、すらすらと口をついて出てくるようになりたいものだと、ずっと念願してきた。アメリカ人のクライアントとの商取引や、日常の一般的な会話も、対等に、堂々とした態度で、英語で交わせるようになりたいと思ってきた。

そして、今まで自分なりに、それなりの努力と苦勞もして、英会話が流暢にしゃべれるようにがんばってきたつもりでもある。

英会話の本も今までに何冊も読み、英会話学校にまじめに通ったこともある。

TOEFLやTOEICの勉強もしっかりして、けっこう優秀な点数も取り、同僚から一目置かれたりもした。

しかし……。

自分で自分の英会話能力を今、評価してみると、とても合格点に届いているとは言えないのだ。

だって、英語をしゃべっているときの自分の姿があんまり格好いいとは言えないからである。

たどたどしいのである。

なにかリラックスしていないのである。

緊張気味でつかえつかえなのである。

英語でコミュニケーションしてるのが、日常の自然なひとコマではなく、自分の意に反して異常事態に遭遇してしまったかのようなのである。

ひとことで言うと、**居心地が悪い**。

▶ 難単語の暗記

英会話を習いたてのころは、表現できない言葉が多すぎたために、ひたすら英単語を頭に詰め込んで、それを吐き出せば、英米人との会話はできるようになるものだと信じていたあなた。

miscellaneous (いろいろな) とか、hypotheses (仮説・前提) とか、indictment (起訴・告発) とか、procrastination (ぐずぐず遅延すること) とかいう難しい語句を覚え、それを使って、相手に通じたときに感じた喜び……。

思えば幸せな時代だった。

▶ 会話表現の暗記

ところが、少し上達してみると、英会話にはそれなりの決まり文句があって、そのような「会話の決まり文句表現」を最低ひと揃え覚えないと、とてもスムーズに会話するのは無理だということに気づくことになった。

あなたは再び、必死になってそれを覚え込もうとした：

| | |
|--------------------|---------------|
| Yeah, I know. | ほんとそうだよ。 |
| I got it. | うん、わかったよ。 |
| That's not true. | いや、そうじゃないですよ。 |
| Oh, I see. | なるほど。 |
| That's it. | もうおしまいだよ。 |
| Take it easy. | 肩の力を抜いて。 |
| Oh, come on. | 馬鹿なこと言うなよ。 |
| No chance. | マジ無理。 |
| It's now or never. | 今しかない。 |